

## 安全で安心な県づくり推進会議（第4回目）記録（要旨）

●日 時：平成28年11月28日（月）午前10時～11時30分

●場 所：北庁舎2階 危機管理センター小会議室

●出席者：別紙委員名簿（出席者一覧）のとおり

●概要：以下のとおり

※本文中の「条例」は福島県安全で安心な県づくりの推進に関する条例のことを、「基本計画」は福島県安全で安心な県づくりの推進に関する基本計画のことを言う。

### ○議題（1）第3回推進会議における意見と対応等

#### （2）安全で安心な県づくりの推進に関する基本計画の改定について

→事務局から資料1、2、3のとおり説明

→各委員から事務局の説明に対するご意見等

#### 【熊田芳江委員】

・（計画改定案）P.35 の1番下の●で「障がいのある方に対する合理的配慮や権利擁護などにも適切に対応していく必要があります」の部分が、この表現だけでは具体的なイメージが湧かない。目の見えない人と足の悪い人では違うと思うので、「障がいの特性に応じた（合理的配慮や～）」などにした方がよい。

・（計画改定案）P.58 の分野指標、「エコファーマー認定件数」が、平成23年度から平成27年度へと極端に減少しているので、エコファーマー認定を取得しやすいようにするなど、そういう表現を加えた方がよいと思う。エコファーマー基準に合っているけれど、その申請や届出をしていない農家もあると思うので、取得を支援するとかすれば、認定件数は上がるのではないかと思う。

また、有機農業に関しては全然記載がされていないので、食の安全安心という観点からはもう少し強く打ち出してもよいと思う。

#### 【横田委員】

・（一番最初に参加したときにも話したが、）指標の死者数を具体的な数字にするのはやはりどうかと思う。マイナス10%などの表現にするべきではないか。

※「住宅火災による死者数」（計画改定案 P.22）、「交通事故死亡者数」（P.44）、「自殺者数」（P.51）の指標について。

・（計画改定案）P.56 の「参考」で、放射性物質の検査体制図があり、この中で「日常食の検査」とあるが、一般世帯の食事の検査をしているのか。

（⇒事務局：抽出世帯における食事1食分の放射性物質の含有状況をモニタリングしている。

⇒吉岡会長：誤解を避けるために「一般世帯（抽出）」などと記載した方がよい。）

【松本委員】

・(計画改定案)P.22 の指標に「福祉避難所指定市町村数」とあるが、P.21 の本文には福祉避難所の言葉が消えてしまっているので、やはり福祉避難所については書いておいた方がよい。また、現在、災害派遣福祉チーム等の整備をしているところだと思うので、そのことについても記載した方がよい。

【渡辺委員】

・(計画改定案)P.43~44 の関係で、前回、高齢者世代の事故が一番多い訳ではないという話をしたが、やはり警察や地域の防犯協会、母の会などに聞いても、事故は高齢者が多いと言う。そこで、けがに至らない物損事故で見れば高齢者は他の世代よりも多いかもしれないので、物損事故の件数についても指標に入れてみてもよいのではないか。

【熊田真市委員】

・(計画改定案)P.75 の上から 5 番目の●(「とりわけ性犯罪は～」)では、「警察」が削除されているが(知事部局も警察も同じ「県」だからということで整理したのかもしれないが)、やはりこの場面では県と警察はそれぞれ並べて記載した方が分かりやすいと思う。

【藁谷委員】

・AEDについては、市町村における設置台数調査をして、さらに本計画への反映について検討をお願いしたい。

【佐々木委員】

・(計画改定案)P.5 で、「(3)分かりやすい情報提供と対話型議論の推進」としているのは、自助、共助の行動をしてもらうためにも情報が必要なので、このように書いていると思うが、「安全で安心に関する情報」という言葉がなんとなくぼんやりとしている感じがする。(起こった事象、出来事についての情報、それに対する分析、評価、解説が重要。)

【松本委員】

・健常者だけでなく、子ども、女性、障がい者など社会的に弱い立場の人たちがいるなかで、各施策については対象者がぼけているというような感じがあり、当事者意識が欠落してしまうのではないかと心配していた。

【熊田芳江委員】

・(犯罪に巻き込まれるのは障がい者が多いことから、)障がい者に関する福祉システムを充実させていくことが犯罪に関する安全安心にも繋がるという視点もあると思うが、この計画ではそういうところが表現されていない。

【横田委員】

・(計画改定案)P.32 の上から二つ目の●について、「住宅侵入犯罪は増加」とあるが、(都市計画の会議に参加していたときに議論したのだが、)相双地区の住民は犯罪が増えているという認識だったので、警察に調べてもらったところ、犯罪件数は減少していたということがあった。ここでは「住宅侵入犯罪」とあるので、この犯罪にだけ言及して増加ということで間違いないか。

#### 【番場委員】

・(計画改定案)P.35 の下から四つ目の●、「児童虐待に関して学校の役割も大切です。教職員が自ら認識を深めるために、研修などを実施して周知啓発を行う必要があります。」とあるが、11月22日に発生した地震と津波が起こった際、学校の先生の「こんな地震くらい」とか「津波は前にも経験しているでしょ」というような言葉に傷ついた子どもたちがいた。児童虐待というと、親からしか受けていないというようなイメージもあるが、むしろ学校で、学校の先生の言葉で傷つけられている子もいる。

#### 【松本委員】

・(虐待は)良かれと思って言った言葉が、結果的に虐待と受け取られてしまったという発信側と受け手側のズレというものが、高齢者虐待でもよくある。この基本計画で書くのは難しいかもしれないが、各論で教育的な配慮として、細かい言葉や表現についてきちんと整理するとよいと思う。

#### 【吉岡会長】

・例えば(計画改定案)P.65の指標「東日本大震災に係る災害廃棄物の処理・処分率」は、目標年度が25年度で100%とあり、注釈に国のマスタープランで決まっているからという書き方をしているが、客観的にこれだけを見たら理解できる人は少ないと思う。今後も進行管理を行っていくということであれば、(この目標値が)そのままなのはどうかと思う。

場合によっては、(計画改定案の)P.3の「指標の設定と進行管理」のところで、現状から考えて、他の計画で決まっても実現が難しいなど明らかにおかしいものは、この計画の中で適宜見直しをしていくというような表現、あるいは担当課や国へ要望していくという記載があった方が積極的にこの計画が生きてくるのではないかと思う。

#### ○議題(3) その他

→事務局から参考資料「基本計画見直しと推進会議のスケジュールについて」のとおり説明

以上